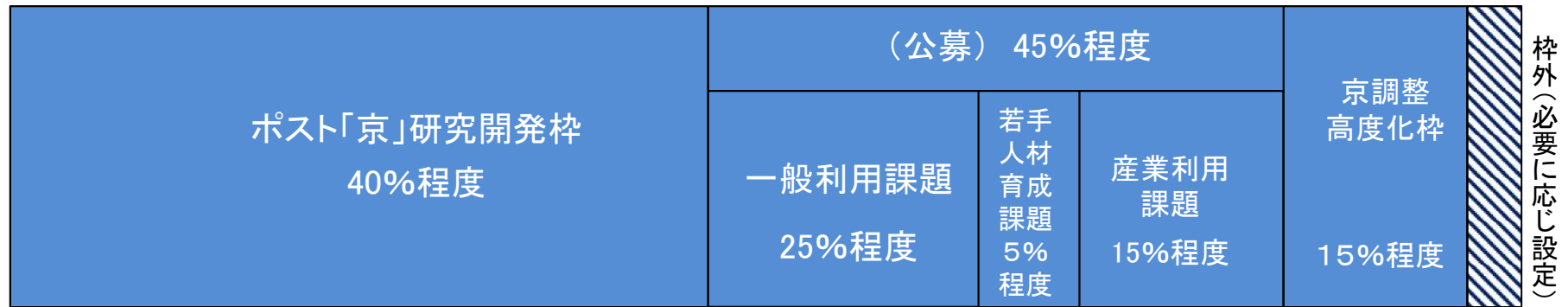


「京」の計算資源の利用内訳

資料3-2
平成29年3月3日第31回HPCI計画推進委員会
資料2より抜粋、加工

H29年3月現在



- ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題
- 重点課題(9課題)
 - 萌芽的課題(4課題)

理研・RISTが「京」のシステム調整やユーザ支援のために利用

- 「京」の総計算資源量の約39%が、企業参画課題(平成29年1月時点)
- 「京」の全利用者の約3割※1が、企業の利用者(約490人※1)。全課題における参画企業数は、総勢150企業以上※2
- 産業利用課題の高い課題採択率(93.3%)(一般課題58.5%)※平成28年度実施課題

※1 平成28年度4月から平成29年1月までの実績
※2 共用開始(平成24年9月)から平成29年1月までの実績

- (一般課題)競争的資金等獲得課題(有償)
- (一般・産業)トライアル・ユース(無償)
- (産業利用)成果非公開での利用(有償)

○重点化促進枠

政策的に重要かつ緊急な課題に利用(HPCI計画推進委員会で審査)等

○平成27年度利用実績

内閣府政策統括官(防災担当)

「南海トラフの巨大地震及び首都直下地震による被害予測の高度化(長周期地震動)」